



モータリゼーションの幕明け

1953年

富国ゴム工業株式会社設立

1950年代

- 1956 ワイパーブレードラバーの技術開発に成功
- 1957 川口第一工場を建設

モータリゼーションの進展

1960年代

- 1963 新幹線用ゴムパッド納入開始
- 1967 上尾工場操業開始

1970年代

- 1972 末吉工業資本参加

バブル時代

1980年代

- 1980 群馬工場操業開始
- 1983 タイフコク設立
- 1986 株式会社フコクに商号変更 愛知工場操業開始
- 1987 韓国フコク設立

バブル崩壊

1990年代

- 1990 群馬第二工場操業開始
- 1994 株式会社店頭登録
- 1995 サイアムフコク設立
- 1996 東京ゴム製作所資本参加
- 1997 フコク東海ゴムインドネシア設立
- 1998 中央研究所設立

IT時代の幕明け

2000年代

- 2001 上海フコク設立
- 2003 東莞フコク設立
- 2004 東証二部上場 青島フコク設立
- 2005 東証一部上場 フコク(上海)貿易設立
- 2006 フコクアメリカ設立

テクノロジーの進展

2010年代

- 2010 フコクインド設立 タイフコクパナプラスファウンドリー設立
- 2011 フコクベトナム設立 南京富国設立 トリムラバー設立
- 2013 西尾工場操業開始
- 2014 フコクメキシコ設立

2020年代

- 2020 グローバルニッチトップ企業100選
- 2021 ゼロエミ・チャレンジ企業選定 上海テクニカルセンター設立
- 2022 プライム市場移行

MISSION フコクグループが果たすべき使命

あらゆる願いを、感動に変える。

「あったらいいな」を形にしてきた先人の功績は今の私たちのものづくりに受け継がれ、これからも新たな製品として拡がり続けます。

ワイパーブレードラバー

ワイパーブレードのゴムの表面処理技術を開発。ガラスとの摩擦問題を解決し、ワイパーブレードラバーという強力な製品を手に入れました。

ピストンシール

ブレーキに使われるピストンシールは、耐熱性、耐ヘタリ性を考慮した材料開発や内周面の粗し方の開発で客先のニーズに応えています。現在、年間7,000万個を生産し、安定した品質でさらにシェアを拡大中です。

超音波モータ

非磁性対応、無通電保持、中空構造といった他のモータに無い特長を持つ超音波モータは、医療機器、測量機、カメラレンズなど幅広い分野で使われ、駆動源に超音波振動子が活用されています。

ビスカスマウント

建設機械に使われるビスカスマウントは、高い衝撃吸収能力でキャビンへの振動伝達を低減。オペレーターの乗り心地を向上させ、疲労を軽減します。

CVJブーツ

他社との技術提携を足掛かりに、顧客との共同開発を進め、1987年に国内で初の樹脂(熱可塑性エラストマー)製CVJブーツの量産を開始。花形ブーツにおいては、フコク独自の工法開発に成功し、シェアを拡大。グローバル展開も進め、事業の柱に至るまで成長しました。

ブリーダンパ

エンジンの振動を低減するダンパは、ビスカスダンパ、ブリーダンパ、アイソレーションブリーダンパを取り揃えて、トラックから乗用車に幅広く使われ、静粛性の向上に貢献しています。

ダイヤフラム

ダイヤフラムは、ブレーキペダルを踏んだ力を増大する機能に大きく貢献しています。この機能がなければ、人がペダルを踏む力だけでは重量が1~2トン前後もある自動車を止めることができなくなるため、安全上とても重要な製品です。

吸排気系・冷却系シール部品

吸排気系のバルブ部品や冷却系のシール部品は、有害ガスの大気放出抑制や装置の温度コントロールに関わる重要な役割を果たす製品です。金属・樹脂との複合化技術や独自の表面改質技術により、求められるニーズに応えています。

ブッシュ

乗り心地や走行安定性を左右するサスペンション機構に使われるトルクロッド、ブッシュ製品は、高強度と軽量化を実現することにより、高い評価を得ています。

OA定着ロール

OA機器にもフコクグループの製品が貢献。シリコンゴムの微細発泡技術により複合機、プリンターなどの高画質化や省エネ性能の向上で活躍しています。

細胞培養バッグ&液体培地

再生医療が目覚ましく進展する中、これまで蓄積してきた医療用容器の技術を活用し細胞培養用の液体培地バッグを開発。高い安全性を有する独自システムを展開しています。

RaST-TAS[®]

大阪大学産業科学研究所との共同研究によりゴム製マイクロ流路チップを開発。細菌の形態変化を観察でき、従来18時間かかっていた検査を3時間以内にまで短縮でき、世界初の細菌検査システムをリリース。

宇宙防振

自動車産業で磨かれた衝撃吸収性は、宇宙開発分野にも認められています。衛星軌道で3軸方向に対する挙動や、ロケット打ち上げ時の衝撃に耐え得ることを立証し、人工衛星などの部品にも採用されています。

バッテリーホールドシート

バッテリー電気自動車(BEV)において、唯一のエネルギー源であるバッテリーモジュールの性能や長寿命に貢献するバッテリーホールドシートをお客様との共創により実現。BEVにおけるゴムの可能性を示しています。